認定 NPO 法人　神奈川県・小田原市指定 NPO 法人
小田原なぎさ会

小田原なぎさ会通信

No.33
2022 年１０月１日発行

私たちは、「精神に障害を持つ皆さんをはじめとして、色々な障害を持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動をしています。①施設の設置・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の中心です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜中期的な活動指針＞

広げよう！『活動の輪』

理事長　　乾　恒雄

新型コロナウイルス感染症の第７波はかつてない感染拡大になりました。現在は収束の傾向を示すものの、人流制限が緩和される中インフルエンザ流行の季節と相まって、再度の感染拡大が懸念されます。一方、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界的経済への影響は、私たちの生活にまで及んで来ています。このような大きな変動の中、個々人にできることは小さなことかもしれませんが、今こそ世界中のみんなが力を合わせて行動することが大切と感じております。

さて、今年度も基本方針として、「**現在取組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く**」ことを掲げて活動を開始しました。依然として続くコロナ禍の中、今までの経験を活かして色々な工夫を盛り込みながら活動を継続しています。１年の最大イベントである「２０２２年(令和４年)度の通常総会」は、昨年度と同様に３密を避け最小限の人数に絞って５月２０日に開催し、無事終了いたしました。会員の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。また、コロナ禍の中で生み出した初めての自主製品『エコマグネット』は、創出期から販売拡大期への発展を目指して具体的な取組みを開始しました。これからも販売の機会を増やして多くの皆さんに活用していただくと共に、通所メンバーさん達の工賃アップへの取組みの柱として育てていきたく考えております(詳細次ページ参照)。上記ウイルス対応等まだまだ困難の多い状況下ではありますが、今後も色々な工夫をしながら、活動を継続していきます。

標記の中期的な活動指針「**広げよう！『活動の輪』**」は、５年計画として策定してから３年半が経ちました。この間の活動推進により、法人創立以来はじめての団体会員が誕生し、北は北海道から南は九州まで会員が広がりました。また、会員が新しい会員を生み出す「伝播が伝播を呼ぶ」動きも始まっています。この指針の本質は「普及啓発事業の強化」にあり、多様性の社会の中で「障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らしていく地域・社会を作り上げていく動きを広げていきたい想い」にあります。１人でも多くの皆様と共に、このような市民・社会活動を通して先ずは日本社会を成長（意識と行動の底上げ）させていきましょう(詳細次ページ参照)。

小田原なぎさ会は持続可能な開発目標（SDGｓ）を支援しています

上記の想いや私たちの活動は、「SDGｓ」にも①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護及び回復（持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減　等）への取組みによる『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想など、深いつながりを持っていると捉えています。

これからも私たちの活動にご理解とご協力・協働をよろしくお願いいたします。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「小田原なぎさ作業所」での
各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

自主製品『エコマグネット』販売の拡大展開（その２）

『エコマグネット』は普及啓発活動用途から始まり、外部（企業・団体・個人）の皆様から製作依頼をいただけるまで成長しました。更なる発展を目指し、一般市場での販売に向けて取組んでいます。

誕生（2020/7）

普及啓発に活用（2020/7～）

普及啓発に活用
＋
外部依頼の製作（2022/10～）

普及啓発に活用（内部用途）
＋
外部依頼の製作（外部用途）
＋
一般市場での販売

一般市場での販売に向け、『キャラクターエコマグネット』の製作を開始!!!　先ずは小田原市の「**梅丸**」、次に同じく小田原市の「**北条五代**」、続いて南足柄市の「**よいしょの金太郎**」、の各イラスト使用許可を取得しました。通所メンバーも製作の腕を上げ、速くなり完成度も向上して、工賃も上がり製作意欲も上がってきています。

普及啓発展示とエコマグ物販の様子

『梅丸』と『金太郎』のエコマグ

『北条五代』のエコマグ（全 14 種）

＜今までの一般販売実績＞

- 「共生社会推進のための啓発活動」会場にて販売
- 「第９回なぎさ祭」にて販売

販売実績：約 500 個

＜今後の一般販売計画(今年度)＞

- おだわらハートフェスタ
- おだわらツーデーマーチ
- ハートメッセージ 2022
- かながわハートフルフェスタ 2022

等のイベント会場にて販売

＜今後の目標＞

販売の機会を増やす!!!

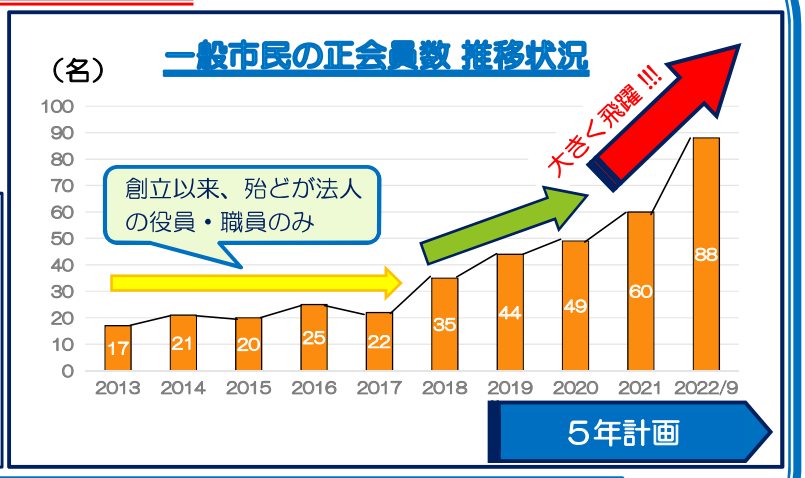
- 更に多くのイベントを活用
- ホームページを活用
- 常設販売へチャレンジ（Ex.道の駅・コンビニ 等）

ホームページからエコマグネットのご注文（オリジナル品オーダー及び一般販売品）をお受けできるように準備中です。一部ご覧いただけますので、覗いてみてください。

中期的活動指針 広げよう！『活動の輪』進度状況（2022．９末時点）

コロナ禍の中、色々な工夫を凝らす（リモートやメール活用など）と共に強い想いを持って普及啓発や協働の投げかけに注力しています。
この半年で大きな飛躍を達成し、更なる活動仲間の拡大に向けて取組んでいます。

一般市民の正会員数は、当法人創立以来 10 年以上にわたり 20 名程度で推移し、その殆どが役員や職員といった法人内部の者に限られていました。
上記『中期的活動指針』に基づく普及啓発活動に注力していく中、少しずつ「活動の仲間」「心の仲間」が増えていき、2022 年９月で一般市民の活動仲間(正会員)が約 90 名(その他の正会員を含めた総数 100 名超)まで広がりました。ありがとうございます!!!



＊ＳＤＧｓの精神にも相通ずる私たちの活動を、皆様と共に広げていければ幸いです。
１人でも多くの皆様のご理解とご協力・協働をよろしくお願いいたします。

第９回　なぎさ祭開催（９月２２日）

恒例イベントになっている「なぎさ祭」を、昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小し、人数制限・検温・アルコール消毒・マスク着用・換気等に配慮し実施しました。
内容は、短歌発表・楽器演奏・クイズ・ゲーム大会など通所メンバーが主体となり、ウイルス感染防止の工夫を凝らした構成で、参加者全員が楽しめたイベントになりました。

ダンスではメンバーがピンクレディの UFO を披露し、大いに盛り上がりました!!!

短歌発表
メンバーさんの気持ちや気づきが現れた多くの名作に驚き!!!

ハンドベル演奏
きらきら星を演奏しました。
緊張しながらも、練習の成果を発揮したチームワークが素晴らしい!!!

最後に参加者全員で記念撮影

＜メンバーさんの感想＞
・はじめて司会をやって楽しかったです。そして、ハンドベルの演奏が良かったと思います。　M.H さん
・みんなで色々な事が出来て楽しかった。特に、ジェスチャーゲームが楽しかったです。　N.I さん

マス釣り＆バーベキュー（5月27日）

コロナ禍の中、久しぶりの屋外レクリエーションを開催しました。朝から大雨でどうなるか心配しましたが、皆さんの日頃の行いが良いのか現地に着いたら晴天になりました。あいにく川釣りは増水の為に叶わず、池でマス釣り体験を行ないました。釣ったマスを塩焼きし、バーベキューをみんなで楽しみました。メンバーさん達の満面の笑顔が印象的でした。

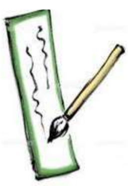
マス釣り大会の後は、みんなでバーベキュー。やっぱり、最後の焼きソバは欠かせません。うまい!!!

緑の自然の中で、楽しい仲間とのひと時。楽しみながら、自然に仲間意識が高まります。

なかなか釣れなかったけど、ついにマスが釣れた～!!!
嬉しい、思わず笑みが溢れます。

＜メンバーさん・職員の感想＞
・朝起きたら大雨で中止だと思ったのですが晴れて良かったです。マス釣りが出来てよかった。BBQ も美味しかったです。　R.T さん
・根府川の隠れた場所に釣りとバーベキューが一緒にできるところがあり、静かなところでどちらをするのも落ち着くところだった。久しぶりに心が癒された。　K.H さん
・マス釣りでは「釣れたよ～ 針からとって!」、「エー、触れないよ～！」などのやり取りもあり、そんな時には釣りが趣味のメンバーさんが応援に来てくれました。BBQ も楽しかったです。　職員　S さん

****



～みんなの短歌２～　通所メンバーさんが作った短歌を少しずつご紹介しています。

・みんないる作業所好きだ楽しいな 毎日元気作業がんばる　N.I さん
・散歩道あやめあじさいきれいねと笑顔で会話ヘルパーさんと　T.U さん

事務局からのお知らせ

認定ＮＰＯ法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベントを企画しております。
会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局まで！！！

●今までの主な活動（R4 年４月～R4 年９月）

4/ 1　機関紙 小田原なぎさ会通信 No.32 発行
4/11　畑体験（管理）実施(形式工夫)
4/22　令和４年度 第１回理事会開催(形式工夫)
5/20　２０２２年(令和４年)度 通常総会開催(形式工夫)
6/ 9　畑体験（収穫)実施(形式工夫)
6/15　第１回地域ネットワーク会議（広域）開催(形式工夫)
7/25～28　共生社会推進のための啓発活動に参加
9/ 1　作業所にて自主防災訓練実施(形式工夫)
9/ 7　令和４年度 第２回理事会開催(形式工夫)
9/22　障害者書道・写真全国コンテスト参加
9/24　「なぎさ祭(第９回)」開催(形式工夫)

＊新型コロナウイルス感染症の影響で、第１回地域ネットワーク会議(近隣)は開催を延期し、バス旅行は開催を中止しました。新田公園夏祭りなどの近隣地域主催のイベント等も開催が中止されました(参加も中止)。

●今後の主な活動予定（R4 年１０月～R5 年３月）

10/ 1　機関紙 小田原なぎさ会通信 No.33 発行
10/ 7　赤い羽根共同募金活動に参加
10/ 8　おだわらハートフェスタ(市主催)に参加
11/20　城下町おだわらツーデーマーチ(市主催)に参加
11/25　ハートメッセージ 2022(県精連主催)に参加
11/27　UMECO 祭り参加(展示・物販)
11/29　第１回地域ネットワーク会議(近隣)開催
12/23　クリスマス地域交流会開催
12/10　かながわハートフルフェスタ(県主催)に参加
2/中旬　第２回ネットワーク会議(広域)開催
3/15　令和４年度 第３回理事会開催
3/中旬　畑体験(植付)実施

＊新型コロナウイルス感染症の影響で、新田公民館文化祭(近隣地域主催)・楽しい音楽会(市事連主催)・ハートフルキャンペーン(小田原市主催)などのイベントは開催が中止され、参加も中止する予定です。

●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

★会員大募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！！

会員になっていただくことだけで、障害者の支援活動に参加していただけます。大切に考えていることは、『皆さんの想いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

◆小田原なぎさ会会費について　：2022 年度より入会金０円・個人年会費 2,000 円に改定

・正会員　：(個人) 入会金０円　年会費 2,000 円　(団体) 入会金０円　年会費 10,000 円
・賛助会員：(個人) 入会金０円　年会費 1,000 円/口　(団体) 入会金０円　年会費 5,000 円/口

＊事務局へご持参、金融機関へお振込みの他、新たに口座から自動引き落としも選択できるようになりました。

★皆さまからのご寄附による、ご支援や活動参加をお願いいたします！！

当法人は『認定 NPO 法人』及び『指定 NPO 法人』を取得しています。寄附をしていただきますと、申告することで国税と地方税をあわせて、寄附金額の最大 50%が税額から控除されます。
法人からご寄附をいただきました場合にも、一般寄附金額の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられておりますので、トータルの損金算入限度額が拡大されます。

＊寄附金は下記どちらかの銀行口座へお振込みいただくか、NPO 法人事務局へご持参願います。
尚、寄付金受領証明書を発行する際に、ご住所・ご氏名が必要なため、先ずは事務局にご連絡願います。

■ゆうちょ銀行　記号１０９７０　番号３４２７６１３１　トクヒ）オダワラナギサカイ
＊他銀行から振り込みの場合　（店名）〇九八（ゼロキュウハチ）（店番）098　普通貯金３４２７６１３
■さがみ信用金庫　南鴨宮支店（普）　0226591 トクヒ）オダワラナギサカイ

発行：認定 NPO 法人　神奈川県・小田原市指定 NPO 法人　小田原なぎさ会

〒250-0875　小田原市南鴨宮３-１６-２０　2F
Tel/Fax　0465-47-4513
E-mail　o-nagisa@nifty.com
ホームページ　https://www.nagisakai.org/
Facebook　https://www.facebook.com/odawaranagisakai

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには
検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか
右の QR コードをスキャンでアクセスできます